

模擬問題 1

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 海上での信号や標識は、小型船舶の航行には関係がない。
- (2) 自分さえ安全ならば、速力を上げて航行してもよい。
- (3) 沿岸付近を航行するときには、陸上との連絡手段を持つ必要はない。
- (4) 太陽光の水面反射によって、水面の状況が分かりにくいことがある。

問2 航行中のヨットの特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 帆走中に風を受ける舷^{びん}を変える際、急に大きく針路を変える場合がある。
- (2) 大きな帆が死角となるため、周囲の状況が十分に確認できない場合がある。
- (3) 帆走中の操船は風に左右されるため、自由自在に航行することが難しい。
- (4) 帆走だけでは、風上の目標に到達することができない。

問3 沿岸漁業に対する注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 養殖漁業の網やいかだは、見えにくい場合があるので注意する。
- (2) 引き縄漁船の引き縄は長さが数十メートルにもなるので、後方を横切の場合は十分離れる。
- (3) 仕掛けられた刺し網やはえ縄には目印のブイや旗竿^{はたざお}が付いているので、避けて航行する。
- (4) 定置網の中を通り抜けるときは、できるだけ低速で航行する。

問4 プレジャーボートの機関故障事故の主な発生原因は、次のうちどれか。

- (1) 船位不確認
- (2) 操船不適切
- (3) 機関取扱不良
- (4) 気象海象不注意

問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反するものは、次のうちどれか。

- (1) 操縦免許証をしばらく他人に貸した。
- (2) 船舶検査証書を船内に備えて航行した。
- (3) 船舶検査手帳を船内に備えて航行した。
- (4) 法定備品を船内に備えて検査を受けた。

問6 車を利用してボートや水上オートバイを持ち込む場合のマナーについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 空き地であっても、許可なく車で乗り入れないようにする。
- (2) 駐車禁止場所や他の人の迷惑になる場所に、駐車しないようにする。
- (3) 燃料やオイルを、海岸に捨てたりこぼしたりしないようにする。
- (4) 艇を降ろした後、トレーラーはそのまま水際に置いておくようにする。

問7 小型船舶の船長が、出航するときに家族やマリナーなどに知らせておかなければならない事項として最も重要なものは、次のうちどれか。

- (1) 航行予定水域
- (2) 機関の出力
- (3) 燃料の搭載量
- (4) 免許の種類

問8 電話番号「118番」により海上保安庁へ通報する場合として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 海岸や海上で不審な船舶や人物を発見したとき。
- (2) 海上で海難事故を起こしたとき、または事故を目撃したとき。
- (3) 海上で船舶の航行に支障があるような漂流物を発見したとき。
- (4) 初めて航行する水域の気象情報について問い合わせるとき。

問9 小型船舶の船長の遵守事項として適切でないものは、次のうちどれか。(小型船舶操縦者法)

- (1) 発航前に燃料及び潤滑油^{じゆんかつゆ}の量を点検すること。
- (2) 酒に酔った状態であっても、有資格者である船長が操縦を行うこと。
- (3) 航行中も錨泊^{びょうぼく}中もいつでも適切な見張りを行うこと。
- (4) 操縦する小型船舶に差し迫った危険があるときは、人命の救助に必要な手段を尽くすこと。

問10 技能限定の付かない二級小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。(小型船舶操縦者法)

- (1) 16歳
- (2) 18歳
- (3) 20歳
- (4) 22歳

=====
解答 問1 (4) 問2 (4) 問3 (4) 問4 (3) 問5 (1) 問6 (4) 問7 (1) 問8 (4) 問9 (2) 問10 (2)

※問10・・・2級は16歳から取得できますが、18歳の誕生日になるまで5トン限定がつきます。(技能限定)

問11 最大搭載人員が5人のレンタルボートで航行する場合、法令違反となるのは、次のどの組合せか。(船舶安全法)

	大人(20歳以上)	小人(年齢の内訳)
(1)	1人	8人(全て10歳)
(2)	3人	3人(6歳、10歳、12歳)
(3)	4人	2人(6歳、12歳)
(4)	2人	5人(6歳2人、10歳2人、12歳1人)

問12 迷惑防止と環境保全について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

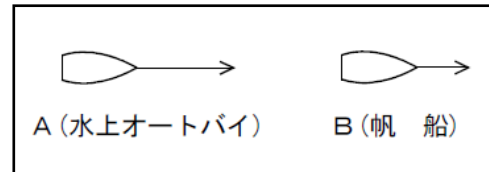
- (1) 住宅地付近の浜辺では、早朝や深夜にはエンジンの始動を行わないようにする。
- (2) 付近の住民の迷惑となるので、必要のない空吹きを行わないようにする。
- (3) 大気汚染などを招くので、エンジンの悪質な改造を行わないようにする。
- (4) 出航するときにはできるだけ速力を上げて、早く岸から離れるようにする。

【交通の方法】

問13 右図に示すように、航行中のA船がB船を追い越す場合の航法として正しいものは、次のうちどれか。

(海上衝突予防法)

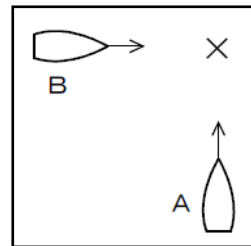
- (1) Aは針路を保って航行しなければならない。
- (2) BはAの進路を避けなければならない。
- (3) AはBの進路を避けなければならない。
- (4) Bは速力を落として航行しなければならない。



問14 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り×印の付近で衝突するおそれがあるとき、A船はどのようにしたらよいか。

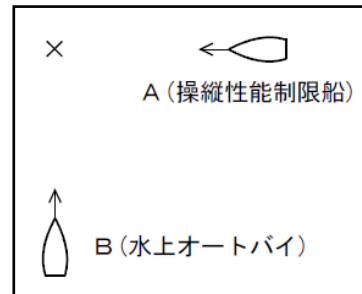
次のうちから正しいものを選び。(海上衝突予防法)

- (1) そのときの針路と速力を保ち、十分に注意して航行する。
- (2) 速力を上げながら右転して、Bの船首方向を通り過ぎる。
- (3) 針路を左に転じて、Bの船尾方向を通り過ぎる。
- (4) エンジンを停止して、Bが通り過ぎるのを待つ。



問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
- (2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
- (3) Bは速力を上げて、Aの船首方向を横切る。
- (4) Aは停船して、Bが通り過ぎるのを待つ。



問16 安全な速力について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。(海上衝突予防法)

- (A) 適切かつ有効な避航動作をとることができる速力をいう。
 (B) そのときの状況に適した距離で停止することができる速力をいう。
 (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問17 狭い水道等を航行する場合は、できる限り、どのように航行しなければならないか。次のうちから選べ。(海上衝突予防法)

- (1) 左側端に寄って航行する。(2) 右側端に寄って航行する。
- (3) 速力を上げて航行する。(4) 水道の中央部を航行する。

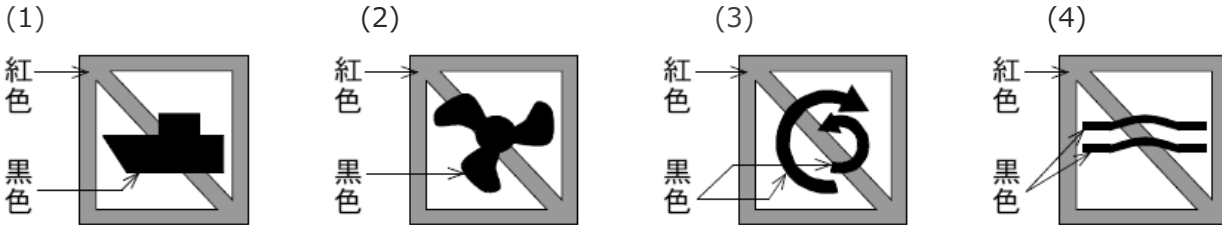
問18 他船との衝突を避けるため、針路を右に転じている船舶が行わなければならない汽笛信号は、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 短音1回 (2) 短音2回 (3) 短音3回 (4) 短音5回

=====

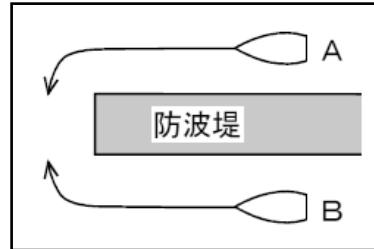
解答 問11 (3) 問12 (4) 問13 (3) 問14 (1) 問15 (2) 問16 (3) 問17 (2) 問18 (1)

問19 次の河川通航標識のうち「回転禁止」を表すものはどれか。(河川法)



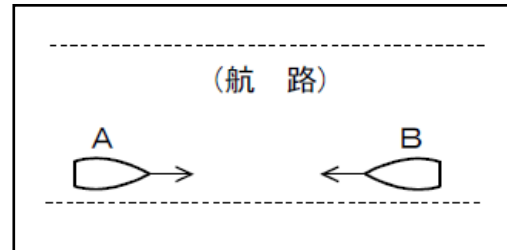
問20 港内を、右図に示すように航行する場合のA、B両船の航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) A、Bともに防波堤から遠ざかって航行する。
- (2) Aは防波堤から遠ざかって航行し、Bは防波堤に近寄って航行する。
- (3) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。
- (4) Aは防波堤に近寄って航行し、Bは防波堤から遠ざかって航行する。



問21 右図に示すように、港内を航行中の2隻の船舶が航路内で行き会うときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) Aは針路を左に転じ、航路の左側を航行する。
- (2) Bは針路を右に転じ、航路の右側を航行する。
- (3) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
- (4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。



問22 海上交通安全法で定める航路を航行しなければならないのは、長さ何メートル以上の船舶か。次のうちから選べ。

- (1) 5メートル (2) 12メートル (3) 20メートル (4) 50メートル

【運航】

問23 自家用車で水上オートバイをゲレンデに持ち込む場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 水上オートバイを降ろした岸边以外の場所には駐車しないようにする。
- (2) 陸上の植物群の保護のため、道路以外の場所へ入らないようにする。
- (3) 砂浜の入口を車両でふさいで、場所取りをしないようにする。
- (4) 環境保護のため、車両で直接砂浜へ乗り入れないようにする。

問24 二級と特殊の小型船舶操縦士の資格を持った者が水上オートバイを操縦する場合、航行できる水域として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 湖及び川のすべての水域 (2) 母船から半径3海里以内の水域
- (3) 原則として陸岸から5海里以内の水域 (4) 原則として陸岸から2海里以内の水域

問25 水上オートバイが高速状態から急減速した場合、方向転換がしにくくなる理由として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) ジェット噴流の推進力よりも前進惰力たどりよくのほうが大きくなるため。
- (2) 水の抵抗に加えて風の抵抗を大きく受けるため。
- (3) 急激にエンジンの出力が小さくなって艇体に大きな負荷がかかるため。
- (4) 急激な速力の変化があるとハンドルが動かなくなるため。

問26 水上オートバイのシフト機構について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) シフト機構を利用することで、狭い水域で方向転換することができる。
- (2) シフト機構により水の吸入口を変え、艇体を静止させることができる。
- (3) 機種によって操作レバーの取付け位置が違う場合があるので、乗艇前に確認しておく。
- (4) あらかじめ後進側にシフトしてエンジンを始動することで、始動直後の飛び出しを防止できる。

=====

解答 問19 (3) 問20 (2) 問21 (2) 問22 (4) 問23 (1) 問24 (4) 問25 (1) 問26 (2)

問27 操縦の基本操作について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 低速走行時は、スロットルレバーを適切に操作してふらつかないようにする。
- (2) スロットルレバーの操作はゆっくりとなめらかにいき、急激な操作は控える。
- (3) 高速での旋回は、ハンドル操作とスロットル操作に加え、体重移動も行う。
- (4) 急減速するときは、エンジンを止めてからシフトを後進に入れる。

問28 転覆した水上オートバイを復原する(引き起こす)場合、回転方向を指定している機種があるが、その理由として適切なものは、次のうちどれか。

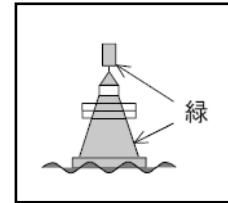
- (1) エンジン内部に水が入らないようにするため
- (2) 燃料タンクから燃料が表れないようにするため
- (3) バッテリー内に水が入らないようにするため
- (4) エンジンオイルが漏れないようにするため

問29 荒天時に走行中、波間で艇体のはね上がった場合の危険性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 着水時の衝撃で胸やあごをハンドルバーにぶつけるおそれがある。
- (2) 着水時の衝撃でリバースゲートのはね上がり、急加速するおそれがある。
- (3) 着水時の衝撃で艇体やエンジンが損傷するおそれがある。
- (4) 着水時の衝撃で同乗者が落水するおそれがある。

問30 複数の水上オートバイでツーリングをする場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 万一の故障や事故などに備えて、走行ルート周辺の陸上施設を調べておく。
- (2) 後ろの艇は、引き波の影響を受けないように、前の艇のすぐ真後ろを走特する。
- (3) 事前に休憩場所や給油場所を決めておき、はぐれても連絡できるよう通信手段を用意する。
- (4) 出発する前に先導役や走行順を決めておき、出発後は同行艇を確認しながら走行する。



問31 右図に示す標識は、次のうちどれか。

ただし、赤は標体の塗色を示す。

- (1) 右舷標識 (2) 左舷標識
- (3) 孤立障害標識 (4) 特殊標識

問32 30ノットで走行している水上オートバイが2海里を走行するのに要する時間は、次のうちどれか。

ただし、風潮流の影響はないものとする。

- (1) 1分 (2) 2分 (3) 3分 (4) 4分

問33 発航前の点検事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ハンドルやスロットルレバーに引っかかりがなく、なめらかに動くことを確認する。
- (2) ジェットインテークやジェットノズルなどにゴミがからみ付いていないことを確認する。
- (3) エンジンルーム内にビルジがなく、ドレンプラグが開いていることを確認する。
- (4) シートやハッチなどの開口部が閉じられ、確実にロックされていることを確認する。

問34 海で使用した水上オートバイを格納する前に行う作業として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 艇体にワックスをかけ、屋外で保管する場合はカバーを掛けておく。
- (2) ライフジャケットは清水で洗って塩分を落とし、十分に乾燥させておく。
- (3) 屋内で保管する場合は、シートを少しずらして通気を良くしておく。
- (4) 燃料タンクを取り外して、タンク内に清水を満たしておく。

問35 走行中、エンジンの異常を知るための手掛かりとして適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) エンジン音 (2) 排気色 (3) 振動 (4) トリム

問36 「雪」を表す天気記号(日本式)は、次のうちどれか。

- (1) ● (2) ⊙ (3) ⊕ (4) ⊗

=====

【解答】 問27 (4) 問28 (1) 問29 (2) 問30 (2) 問31 (2) 問32 (4) 問33 (3) 問34 (4) 問35 (4) 問36 (4)

※問32・距離÷速力＝所要時間 2(海里)÷30(ノット)＝1/15(時間)＝4分

※問35・「トリム」とは艇の前後の傾き。半滑走状態で前部が持ち上がることを「過大な船尾トリム」という。

問37 離岸流(リップカレント)について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 海岸に打ち寄せた波が、陸岸と平行に流れて互いにぶつかり合うことにより発生する。
- (2) 風潮流や海底地形などの自然条件によっては、非常に速い流れが発生する場合がある。
- (3) 岸から沖へ向かう流れであるため、離岸流に乗ると沖の方向へ流されてしまう。
- (4) 離岸流に乗ってしまった場合は、流れに逆らって泳ぎ続けながら、流れが収まるのを待つ。

問38 次の月の見え方のうち、潮の干満差が最も小さくなるのはどれか。



問39 水上オートバイによる海難事故の種類とその防止対策を示した次の組合せのうち、適切でないものはどれか。

- (1) 浸水 ……水上に降ろす前に、ドレンプラグを確実に閉めておく。
- (2) 衝突 ……他船を早期に発見するため、前方の見張りだけに集中する。
- (3) 機関故障 ……出航前の点検を適切に行い、浮遊物などは避けて走行する。
- (4) 乗揚げ ……事前に航行する水域を調べておき、危険な水域へは近寄らないようにする。

問40 救命設備の取扱いについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 信号紅炎は、点火したらすぐに水面に投下する。
- (2) ライフジャケットは、体型に合ったものを着用する。
- (3) 信号紅炎は、救助を求めるときにだけ使用する。
- (4) ライフジャケットは、ベルトやひもをしっかり締める。

問1～問12	問13～問22	問23～問40	合計
/12 正解	/10 正解	/18 正解	/40 正解

各科目50%以上、合計26問以上正解で合格。(1.2級所持者は問23～問40の中で12問以上正解で合格)

=====

解答 問37 (4) 問38 (2) 問39 (2) 問40 (1)

模擬問題 2

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) まわりよりも白波が多く立っている水面は、その下に障害物や浅瀬が存在していることがある。
- (2) 太陽の光を背にして航行していると、前方にある船やゴミが見えなくなってしまうことがある。
- (3) 潮流の強いところでは、思った以上に速力がよがったり下がったりしてしまうことがある。
- (4) 自船の位置を確認しておかないと、気付かないうちに危険な場所に近づいてしまうことがある。

問2 大型船の一般的な特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ブリッジからは周りをよく見渡せるので、近くにいる小型船舶の動きがよく分かる。
- (2) 舵効きが悪い^{かじま}ため、舵を取ってから実際に針路が変わるまでに時間がかかる。
- (3) 緊急にエンジンを停止しても、すぐには停船することができない。
- (4) 狭い水道などでは、自船の針路を保つことに精一杯で、他の船舶を避けることが難しい。

問3 養殖漁業について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 一定の区域に施設を設置して、カキや魚類、ノリなどを養殖している。
- (2) 養殖施設は、海岸に近い水域に密集して設置されることが多い。
- (3) 養殖される魚の種類によってさまざまな施設があり、同じ種類でも地域によって形状が違う。
- (4) 養殖用のいかだやいけすは常に水面下に設置されていて、水上からは全く見えない。

問4 プレジャーボートの海難種類と、その主要な原因の組合せとして正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 機関故障……気象海象不注意
- (2) 衝突……見張り不十分
- (3) 転覆……船位不確認
- (4) 乗揚げ……操船不適切

問5 小型船舶の船長の役割や責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 同乗者の安全よりも、船体の安全を第一に考えなければならない。
- (2) 同乗者の行動に対して、十分に注意を払わなければならない。
- (3) 出航してから帰港するまで、すべてにおいて責任を負わなければならない。
- (4) 事故の内容によっては、海難審判法に基づく処分を受けなければならない。

問6 小型船舶の船長のマナーについて述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 港内や船だまりの付近では、できるだけ速力を落として、引き波を立てないように航行する。
 - (B) 港内の施設を許可なく使用する場合は、他の利用者がいない時間帯を見計らって利用する。
- (1) (A)だけ正しい
 - (2) (B)だけ正しい
 - (3) ともに正しい
 - (4) ともに誤っている

問7 小型船舶の船長の心得として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) ぼんやりと航行せず、常に船位の確認に努める。
- (2) 停泊船の付近は、安全のため低速で航行する。
- (3) 船内で出たゴミは、海底に沈む物だけを船外に捨てる。
- (4) 帰港後は、無事に帰ったことを関係者に知らせる。

問8 航行中に事故が起きた場合の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 冷静になって事故の状況を確認する。
- (2) ただちに116番に連絡する。
- (3) 落水者がいないかどうかを確認する。
- (4) 人命の救助を最優先する。

問9 小型船舶の船長の遵守事項で禁止されている「危険な操縦の方法」に当てはまらないものは、次のうちどれか。

(小型船舶操縦者法)

- (1) 遊泳者を発見して急停止すること
- (2) 遊泳者のすぐそばで急回転すること
- (3) 遊泳者の近くでジグザグ運転すること
- (4) 遊泳者のまわりを高速で航行すること

問10 一級小型船舶操縦士の免許は満何歳から取得できるか。次のうちから選べ。(小型船舶操縦者法)

- (1) 16 歳
- (2) 17 歳
- (3) 18 歳
- (4) 20 歳

=====

解答 問1 (2) 問2 (1) 問3 (4) 問4 (2) 問5 (1) 問6 (1) 問7 (3) 問8 (2) 問9 (1) 問10 (3)

問11 次の①～③のうち、新規登録の際の登録事項はどれか。下のうちから正しい組合せを選べ。

- ① 船名 ② 船籍港 ③ 総トン数

(小型船舶の登録等に関する法律)

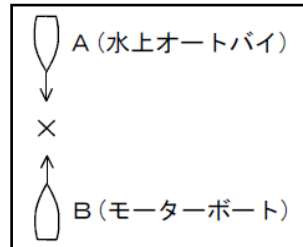
- (1) ① ② (2) ② ③ (3) ① ③ (4) ① ② ③

問12 環境への配慮として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 出航した後は、できるだけ早く海岸から遠ざかるよう、すぐに速力を上げる。
 (2) 環境に与える影響が比較的小さい、4ストロークエンジン搭載の船を使用する。
 (3) 陸上で水上オートバイのエンジンをかけるときには、十分に空吹かしを行う。
 (4) 早朝や深夜以外であれば、大きなエンジン音を出しても近隣住民の迷惑にならない。

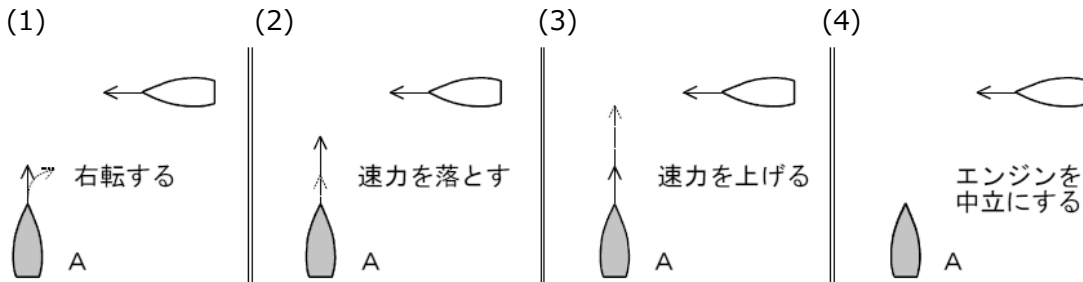
【交通の方法】

問13 右図に示すように、航行中の2隻の動力船が真向かいに行き会い、×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

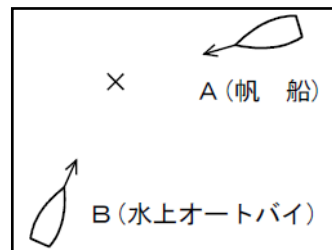


- (1) AはBの進路を避け、Bは針路と速力を保つ。
 (2) BはAの進路を避け、Aは針路と速力を保つ。
 (3) A、Bともに針路を右に転じる。
 (4) A、Bともに針路を左に転じる。

問14 下図は、航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがある場合のA船の動作の具体例を示したものである。やむを得ない場合を除き、A船がとってはならない避航動作はどれか。(海上衝突予防法)



問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



- (1) A、Bともに針路を右に転じ、他船の進路を避ける。
 (2) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。
 (3) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
 (4) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。

問16 見張りについて述べた次の文のうち、適切なものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 目や耳など、あらゆる方法により行う。
 (2) 高速航行中は、前方に意識を集中して行う。
 (3) エンジンを止めて漂流しているときは行う必要はない。
 (4) 船舶の通航の少ない水域では行う必要はない。

問17 視界制限状態の水域で他船の霧中信号を聞いたときの行動について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。(海上衝突予防法)

- (A) 他船の霧中信号が前方から聞こえてきたときは、舵が効く最小限度の速力に落とさなければならない。
 (B) 他船の霧中信号が後方から聞こえてきたときは、やむを得ない場合を除いてエンジンを停止しなければならない。
 (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

=====

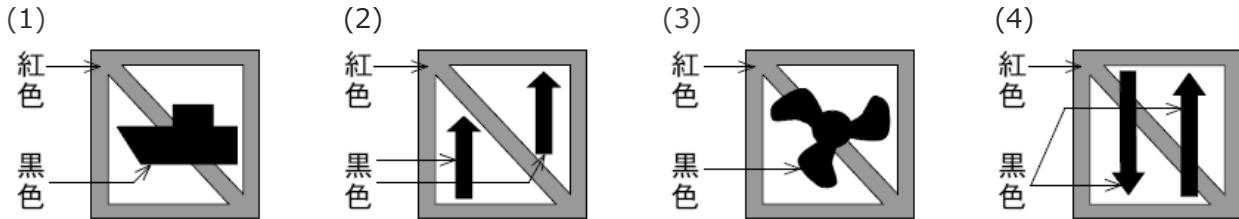
解答 問11 (2) 問12 (2) 問13 (3) 問14 (3) 問15 (4) 問16 (1) 問17 (1)

※問11・「船名」は船舶検査証書には記載しますが、登録はしません。

問18 昼間、航行中の操縦性能制限船(長さ12メートル以上)が表示しなければならない形象物は、次のうちどれか。
(海上衝突予防法)



問19 次の河川通航標識のうち「動力船通航禁止」を表すものはどれか。(河川法)



問20 速力の制限について述べた次の文の()の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「船舶は、港内及び港の境界付近においては、()で航行しなければならない。」(港則法)

- (1) 12ノット以下の速力
- (2) 他の船舶の影響を受けないような速力
- (3) 他の船舶に追い越されないような速力
- (4) 他の船舶に危険を及ぼさないような速力

問21 港内の航路における航法として誤っているものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) 航路内で他の船舶と行き会うときは、右側を航行しなければならない。
- (2) 航路内では、他の船舶と横に並んで航行してはならない。
- (3) 前方に自船より遅い他の船舶があるときは、これを追い越して航行しなければならない。
- (4) 航路外から航路に入ろうとする船舶は、航路を航行する船舶の進路を避けなければならない。

問22 速力が制限されている航路の区間では、何ノットを超える速力で航行してはならないか。次のうちから正しいものを選び。
(海上交通安全法)

- (1) 10ノット
- (2) 12ノット
- (3) 18ノット
- (4) 20ノット

【運航】

問23 水上オートバイを操縦するときにとった行動として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 早朝にゲレンデに着いたため、日が高くなるのを待って走行を始めた。
- (2) 夜間定行をするため、12メートル未満の動力船の法定灯火を装備した。
- (3) 音が漏れないようにするため、シートを閉じてエンジンを始動した。
- (4) 小学生を同乗させるため、子供用のライフジャケットを用意した。

問24 水上オートバイを操縦する場合、法令で禁止されているものは次のうちどれか。

- (1) 湖川での航行
- (2) 休日の航行
- (3) 夜間の航行
- (4) 単独での航行

問25 水上オートバイの基本的な運動特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 軽量なため、高速走行に耐えられない。
- (2) 水の抵抗を使って速力を落とす。
- (3) 推進力がないと進行方向を変えられない。
- (4) 艇体を傾けるとより鋭く旋回できる。

問26 次の文に該当する水上オートバイの装置は、下のうちどれか。

「手前に引くタイプと親指で押し込むタイプがあり、これを操作することにより、エンジンの回転数を調整する。」

- (1) シフトレバー
- (2) スタートボタン
- (3) ハンドルバー
- (4) スロットルレバー

=====

解答 問18 (4) 問19 (3) 問20 (4) 問21 (3) 問22 (2) 問23 (2) 問24 (3) 問25 (1) 問26 (4)

問27 旋回や増減速の基本操作について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 高速時の旋回は、ハンドル操作だけで行う。
- (2) 低速時の旋回は、体重移動だけで行う。
- (3) 高速からの減速は、スロットルレバーとシフトを同時に操作して行う。
- (4) 低速からの増速は、スロットルレバーを少しずつ操作して行う。

問28 転覆した水上オートバイを復原する(引き起こす)方法について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 再始動がすぐにできるように、緊急エンジン停止コードをスイッチにセットした状態にする。
- (2) 艇体に引き起こす回転方向が表示してある場合は、その表示に従って回転させる。
- (3) ガンネルに足をかけ、片舷かたげんに体重をかけて押し下げながら引き起こす。
- (4) 艇体が回転し始めたら艇体を突き放すようにし、艇の下敷きにならないようにする。

問29 エンジントラブルを起こした他の水上オートバイを曳航する場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

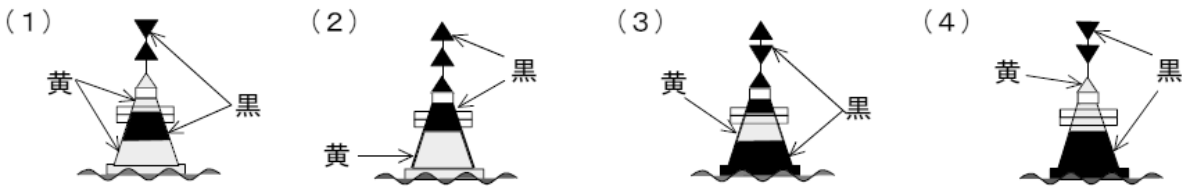
- (1) 曳航ロープを他艇のハンドルバー中央部に結びつけると、安定して曳航しやすい。
- (2) 曳航ロープを他艇のパウアイに結びつけると、強度が足りず破損する危険がある。
- (3) 他艇には誰も乗せず、シートも引く側に移して、できるだけ軽くする。
- (4) 引き始めは、ロープの張り具合と他艇の動きに注意しながら少しずつ速力を上げる。

問30 河川を走行する場合の一般的な注意事項について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) わん曲部は、外側は浅く、内側は深くなっていることが多いので、できるだけ内側に沿って航行する。
 - (B) 二つの河川の合流地点では、不規則な波が生じることがあるので、特に注意して航行する。
- (1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問31 下図に示す灯浮標のうち、標識の南側に可航水域があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。



問32 次の海図図式のうち、「急潮」を表すものはどれか。



問33 発航前のエンジンの点検要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) シートを取り外してエンジンルームの換気を行う。
- (2) セットしたキルスイッチコードを強く引いても、キルスイッチから外れないことを確認する。
- (3) バッテリーの液量、取付け状態及びターミナルの接続状態を点検する。
- (4) 燃料の残量は、メーターパネルの示度だけでなく、タンクを直接目で見て確認する。

問34 長期間陸上保管する場合の保守手入れについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) エンジンルーム内にたまった水を排出し、残った水分はウエスなどで完全にふき取っておく。
- (2) エンジン内部が錆びないよう、点火プラグの取り付け穴から燃料を十分に注入しておく。
- (3) バッテリーを取り外して充電し、風通しのよい場所に保管する。
- (4) エンジン本体の汚れを落とし、必要箇所に防錆剤ぼうさせいざいを吹き付けておく。

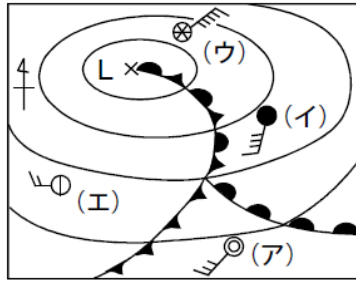
問35 走行中に突然エンジンから異臭がした場合、その原因として考えられるものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリー本体の取付けがゆるんだ。
- (2) 燃料がなくなった。
- (3) ジェットインテークが詰まった。
- (4) スポンソンにゴミがからまった。

=====

解答 問27 (1) 問28 (1) 問29 (4) 問30 (2) 問31 (4) 問32 (3) 問33 (2) 問34 (2) 問35 (3)

問36 右図は、日本付近に現れる地上天気図の一部を示したものである。風が最も弱い地点は、图中(1)～(4)のうちどれか。



問37 温暖前線が通過するとき生じる一般的な気象現象として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 風向が、東寄りから北寄りに急変する。
- (2) 突風が吹くことが多い。
- (3) しとしと雨が降る。
- (4) 通過後は気温が下がる。

問38 1日に起こる満潮の回数は、通常何回か。次のうちから選べ。

- (1) 1回
- (2) 2回
- (3) 3回
- (4) 4回

問39 浸水による機関故障事故の防止対策として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 乗艇前にハッチの閉まり具合やシートの取付け状態を確認する。
- (2) 走行中は定期的にハッチやシートを開け、浸水がないかどうかを確認する。
- (3) 転覆状態から艇体を引き起こす場合には、引き起しの方向を確認する。
- (4) 格納時にハッチやエンジンカバーのパッキンの状態を確認する。

問40 水上オートバイを使用した人命救助について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 救助作業を行っている間も、まわりの安全確認を注意深く行うようにする。
- (2) 風向や川の流れなど、外力の影響を考えて要救助者に近づく。
- (3) 救助の降、低速で救助すると艇が不安定になるので、高速で一気に救助する。
- (4) 携帯電話などでマリーナや医療機関に連絡を取り、できるだけ早く要救助者を陸上に運ぶ。

問1～問12	問13～問22	問23～問40	合計
/12 正解	/10 正解	/18 正解	/40 正解

各科目50%以上、合計26問以上正解で合格。(1.2級所持者は問23～問40の中で12問以上正解で合格)

=====

解答 問36 (4) 問37 (3) 問38 (2) 問39 (2) 問40 (3)

模擬問題 3 (ルビ問題)

【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

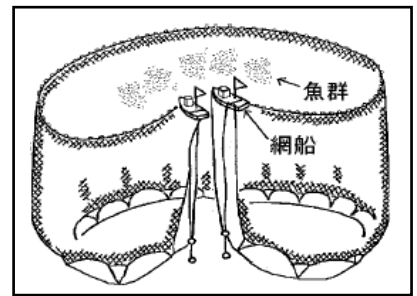
- (1) 工事や作業を行っている船舶を見かけたら、できるだけ離れて航行する。
- (2) 風や波などの影響をほとんど受けずに航行することができる。
- (3) 海上では、自船の位置は177番に電話すれば分かる。
- (4) 水面下の暗礁、障害物は、見張りを行っていれば必ず発見することができる。

問2 沿岸で操業をしている漁船に対する行為として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 興味本位に近づかないようにする。
- (2) 集団で操業している場合は、早めに大きく避けて航行する。
- (3) 操業の妨害をしないような進路をとる。
- (4) やむを得ず近づく場合は、引き波を立てて接近を知らせる。

問3 下図に示す「まき網漁業」に対する注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 魚群を囲い込むために、網船が急に針路を変えることがあるので注意しなければならない。
- (2) 水面付近のまき網は、離れた位置からは見えにくいので、近寄って確認しなければならない。
- (3) 複数の船舶で操業する機会が多いので、一隻だけではなく周りの船の動きにも注意しなければならない。
- (4) 漁船が動いていなくても、網を揚げている場合があるので、まわりで引き波を立てないようにしなければならない。



問4 プレジャーボートの海難事故の発生原因として適切でないものは、次のうちどれか。

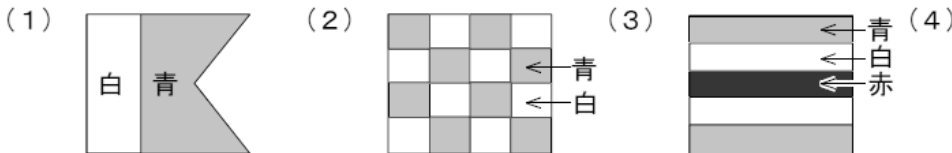
- (1) 水域調査不十分
- (2) 救命設備不搭載
- (3) 気象海象不注意
- (4) 発航前点検不十分

問5 小型船舶の船長がとった行動として法令に違反するものは、次のうちどれか。

- (1) 船舶検査証書を、船内に備えて航行した。
- (2) 使わなくなった操縦免許証を、他人に譲った。
- (3) 昼間、法定灯火をつけて航行した。
- (4) 友人が持っている小型船舶に、船長として乗船した。

問6 「私は、潜水夫を降ろしている、微速で十分避けよ。」を意味する国際信号旗は、次のうちどれか。

ただし、白、青、赤は信号旗の色を表す。



問7 航行予定水域の状況を確認する方法として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 海図やプレジャーボート・小型船用港湾案内で調べる。
- (2) 航行予定水域付近のマリーナや漁業協同組合に問い合わせる。
- (3) 航行予定水域を管轄する海上保安部に問い合わせる。
- (4) 使用する船舶の船舶検査証書や船舶検査手帳で調べる。

解答 問1 (1) 問2 (4) 問3 (2) 問4 (2) 問5 (2) 問6 (1) 問7 (4)

問8 海上で携帯電話を使用する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 防水対策として防水パックに入れるか、防水機能があるものを使用する。
- (2) 日本国内の場合、すべての携帯電話で海岸から20海里までの通話が保証されている。
- (3) いつでも身に付けておき、緊急時には素早く使用できるようにしておく。
- (4) 海上保安庁への直通番号(緊急通報用電話番号)を登録しておく。

問9 小型船舶の船長の道守事項について述べた次の文の()の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。
(小型船舶操縦者法)

「操縦する小型船舶が衝突したときやその小型船舶にさしせまった危険があるときは、()に必要な手段を尽くさなければならない。」

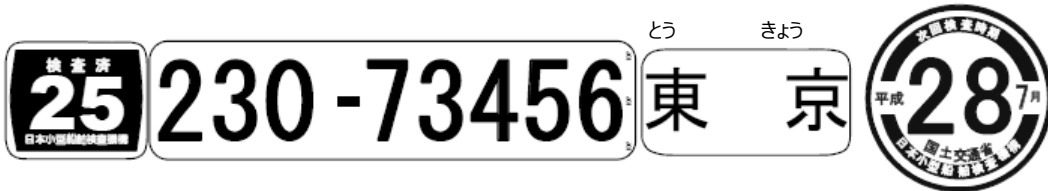
- (1) 通信の確保 (2) 人命の救助 (3) 船位の確認 (4) 船体の確保

問10 操縦免許証の更新及び失効再交付について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。
(小型船舶操縦者法)

- (A) 更新の要件となる更新講習は、操縦免許証の有効期間が満了する日の1年前から満了日までの間に更新申請ができるように受講しなければならない。
- (B) 操縦免許証の有効期間を更新せず、満了により免許証が効力を失っても、失効再交付講習を受けて申請をすれば免許証は再交付される。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問11 小型船舶の両船側にはられた次のステッカーに含まれないものは、下のうちどれか。



- (1) 船舶検査済票 (2) 船舶番号 (3) 船体識別番号 (4) 次回検査時期指定票

問12 環境への配慮として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 所有する船を処分するときには、沖合の安全な場所に沈めるようにする。
- (2) 水域の環境に悪影響を与えるので、ゴミや油を捨てないようにする。
- (3) 高潮や洪水のとき河川の流に悪影響を与えるので、不法係留をしないようにする。
- (4) 船舶交通や工事作業の障害になるので、護岸に係留用の杭を打ちつけないようにする。

【交通の方法】

問13 航行中の2隻の動力船が真向かいに行き会い、衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 互いに針路を右に転じる。(2) 速いほうの船舶が、他船の進路を避ける。
(海上衝突予防法)
- (3) 互いに針路を左に転じる。(4) 遅いほうの船舶が、他船の進路を避ける。

問14 衝突を避けるための動作をとる際の注意事項として誤っているものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

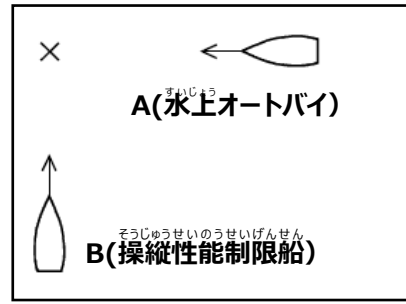
- (1) 十分に余裕のある時期に動作をとる。
- (2) ためらわずに動作をとる。
- (3) 針路又は速力の変更は、小刻みに行う。
- (4) 他船との間に安全な距離を保って通過できるように行う。

=====
解答 問8 (2) 問9 (2) 問10 (3) 問11 (3) 問12 (1) 問13 (1) 問14 (3)

問15 右図に示すように、航行中の2隻の船舶が×印の付近

で衝突するおそれがあるときの航法として正しいものは、
次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) AがBの進路を避け、Bは針路、速力を保つ。
- (2) BがAの進路を避け、Aは針路、速力を保つ。
- (3) Aはできるだけ速力を上げて、Bの船首方向を横切る。
- (4) A、Bともに針路を左に転じ、他船の進路を避ける。

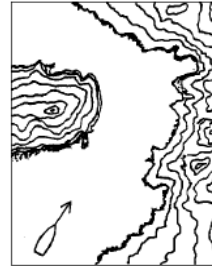


問16 見張りについて述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 目視だけに頼った方法で見張りを行ってはならない。
- (2) 見張りによって衝突のおそれを判断してはならない。
- (3) 航行中、錨泊中にかかわらず、注意深く行わなければならない。
- (4) 視界の状態にかかわらず、いつでも適切に行わなければならない。

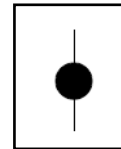
問17 右図に示すように、狭い水道等のわん曲部に接近する船舶が行った次の動作のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 長音1回の汽笛信号を鳴らした。
- (2) 左岸側へ寄って航行した。
- (3) 速力を落とした。
- (4) 耳をすました。



問18 昼間、右図の形象物1個を表示しているのはどのような船舶か。次のうちから選べ。

- (1) 操縦性能制限船
- (2) 漁ろうに従事している船舶
- (3) 錨泊中の船舶
- (4) 船舶等を引いている動力船



問19 水上安全条例について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。

- (1) 条例に違反した者の取締りは、国土交通省が行っている。
- (2) 条例により、船舶の航行を制限したり騒音を規制している水域がある。
- (3) 条例に違反しても、懲役や罰金などの罰則は適用されない。
- (4) 条例が定められているのは、大きな湖がある県だけである。

問20 港内における航法について述べた次の文の()の中に当てはまる適切な語句は、下のうちどれか。

「船舶は、港内においては、防波堤などの突端や停泊船舶を()に見て航行するときは、できるだけこれから遠ざかって航行しなければならない。」 (港則法)

- (1) 右舷
- (2) 左舷
- (3) 風上側
- (4) 風下側

問21 港内の航路における航法として定められていないものは、次のうちどれか。(港則法)

- (1) 並列航行禁止
- (2) 追越し禁止
- (3) 左側航行
- (4) 航路航行船優先

問22 海上交通安全法が適用される海域は、次のうちどれか。

- (1) 富山湾
- (2) 東京湾
- (3) 鹿児島湾
- (4) 駿河湾

=====

解答 問15 (1) 問16 (2) 問17 (2) 問18 (3) 問19 (2) 問20 (2) 問21 (3) 問22 (2)

【運航】

問23 水上オートバイを操縦するときの、緊急エンジン停止コードの端部(緊急エンジン停止スイッチとは反対側)の取扱いとして適切なものは、次のうちどれか。

- (1) ハッチ内に格納する。(2) そのまま垂らす。(3) ハンドルバーに巻きつける。(4) 操縦者の身体に装着する。

問24 ゲレンデのローカルルールについて述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 遊泳区域と水上オートバイの航行区域を分けている水域がある。(2) 水上オートバイの上げ下ろし場所が指定されている水域がある。(3) ローカルルールは、地元のマリンショップなどに問い合わせる前に調べる。(4) ローカルルールは、水上オートバイにだけ適用される。

問25 水上オートバイの運動特性について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 方向転換中、旋回方向に素早く船首を向けるためには、スロットルレバーを離す。(B) 高速走行中、素早く速力を落とすためには、インペラを逆転させることにより、ジェット噴流を反転させる。(1) (A)のみ正しい (2) (B)のみ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問26 艇体各部の名称とその役割について述べた次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) リバースゲート ... 噴射されたジェット噴流の向きを船首方向に変える。(2) ジェットインターク ... 推進用と冷却用の水を吸い込む。(3) スポンソン ... 旋回時の操縦安定性を高める。(4) 冷却水点検孔 ... 冷却水の温度を点検する。

問27 砂浜でシッティングタイプの水上オートバイに乗艇する要領について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 同乗者が安全に乗艇できるよう、エンジンは始動しておく。(2) エンジンを始動する前に、艇体を数回揺すって砂などを落とす。(3) 足が着かなくなるところまで押していき、艇体の横方向から乗艇する。(4) なるべく早く波打ち際を離れるため、波の周期に関係なく素早く乗艇する。

問28 転覆した水上オートバイを復原する(引き起こす)方法について述べた次の(A)と(B)の正誤を判定し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 緊急エンジン停止コードを外し、エンジンが停止していることを確認する。(B) 艇体に引き起こす回転方向が表示してある場合は、その表示に従って行う。

- (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

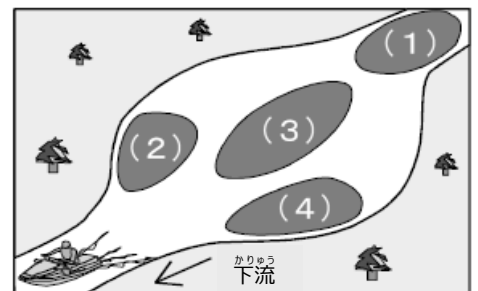
問29 ウェイクボードをトローリングする場合の注意事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ウェイクボードが実施できる水域に制約はなく、どこでも楽しむことができる。(2) プレーヤー(引かれる者)や周囲の安全確保のため、後方の見張り役を同乗させておく。(3) トローリングロープの長さを頭に入れておき、左右に十分余裕のある水域で行う。(4) 障害物を発見したときや旋回するときには、プレーヤーに合図を送って必ず知らせる。

問30 右図に示すように河川がわん曲しているところ

では、一般的にどの部分が浅いとされているか。

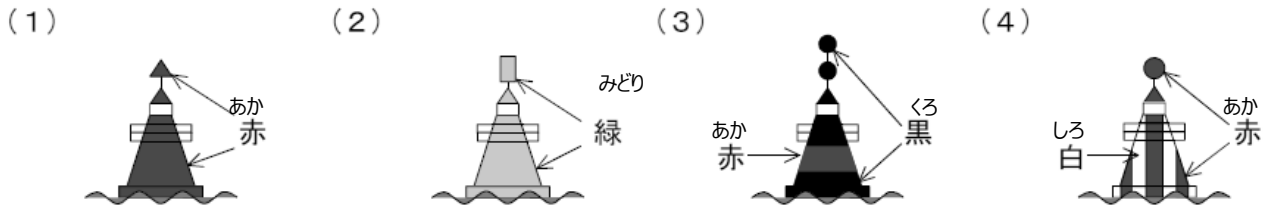
図中に [] で示した(1)~(4)のうちから選べ。



解答 問23 (4) 問24 (4) 問25 (4) 問26 (4) 問27 (2) 問28 (3) 問29 (1) 問30 (3)

問31 下図に示す灯浮標のうち、標識の周囲に可航水域があることを示すものはどれか。

ただし、赤、緑、黒、白は標体の塗色を示す。

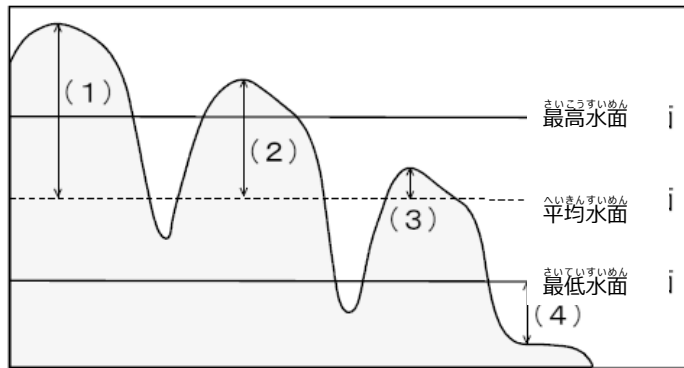


問32 海図に記された高さや水深の基準面

を示した右図のうち、誤っているものは

どれか。

- (1) 山の高さ
- (2) 島の高さ
- (3) 干出の高さ
- (4) 水深



問33 エンジンを始動する前に行う点検事項について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) ハルやデッキに亀裂や損傷がないことを確認する。
- (2) エンジンルーム内にビルジがたまっていないことを確認する。
- (3) 緊急エンジン停止コードがスロットルレバーについていることを確認する。
- (4) ハンドルバーなどの可動部分がなめらかに動くことを確認する。

問34 海水域で使用した後の保守手入について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 艇体にこびりついた塩分を清水で十分に洗い流す。
- (2) ジェットノズルやジェットインテークから清水を注入して、内部を十分に洗い流す。
- (3) エンジン関係では、特に燃料フィルターや燃料パイプを清水で十分に洗い流す。
- (4) 洗った後、乾いた布で水分をふき取り、必要箇所防錆剤を吹き付けておく。

問35 エンジンを停止した後、しばらくして再始動を試みたところ、バッテリーの充電が不十分でエンジンを始動できなかった。

この場合に考えられる原因として最も適切なものは、次のうちどれか。

- (1) バッテリーが艇体に確実に固定されていなかった。
- (2) バッテリー液の注入孔のキャップがゆるんでいた。
- (3) バッテリーの下部が水につかっていた。
- (4) バッテリーのターミナルがゆるんでいた。

問36 天気記号(日本式)「☉」の表すものは、次のうちどれか。

- (1) 晴れ (2) くもり (3) 雨 (4) 雪

問37 風について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 気圧の高い所から低い所へ向かって吹く。
- (2) 一般に、等圧線の間隔の狭い所ほど強く吹く。
- (3) 風向は、風の吹いて行く方向で表す。
- (4) 風速は、観測時前10分間の平均風速で表す。

解答 問31 (4) 問32 (3) 問33 (3) 問34 (3) 問35 (4) 問36 (2) 問37 (3)

問38 潮汐について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選べ。

- (A) 潮汐により海面が最も高くなった状態を満潮、最も低くなった状態を干潮という。
 (B) 満潮から干潮までの間を上げ潮、干潮から満潮までの間を下げ潮という。
 (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている

問39 走行中、浅瀬に乗り揚げた場合の処置として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 再始動できなくなることがあるので、エンジンは停止しない。
 (2) 後進機能が付いている機種であれば、直ちに後進して離礁する。
 (3) 艇体に損傷がなければ、離礁後全速で走行し、エンジンの状態を確認する。
 (4) 自力で走行できない場合は、すみやかに救助を要請する。

問40 走行中、同乗者が落水したときの救助方法として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 落水者から離れないように、直ちに行きあしを止める。
 (2) いつでも飛び込めるように、ライフジャケットを脱いで救助に向かう。
 (3) 安全に短時間で救助できるように近づく。
 (4) 落水者から目を離さないようにする。

問1～問12	問13～問22	問23～問40	合計
/12 正解	/10 正解	/18 正解	/40 正解

各科目50%以上、合計26問以上正解で合格。(1.2級所持者は問23～問40の中で12問以上正解で合格)

=====

解答 問38 (1) 問39 (4) 問40 (2)